

基本政策 1 快適で安心な生活環境で過ごすことができる

【基本政策の方向性】

衛生的で快適な生活環境や企業の経済活動を支えるとともに、河川、海域を水質汚濁等から守ります。また、都市に降った雨水を速やかに排水し、市民の生命・財産を守り、快適で安心な生活環境で過ごせる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「川の水をきれいにする」

衛生的で快適な生活環境を保ち、河川の水質を保全するため、公共下水道や合併浄化槽¹などにより、川の水をきれいにすることを目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
生活環境の保全に関する環境基準 (BOD(生物化学的酸素要求量)=5 mg/ℓ以下)	1.3 mg/ℓ (H30)	⇒ 1.3 mg/ℓ以下 (R7)

「内水被害²の軽減」

都市化による市街地での浸水被害を防ぐため、計画的に雨水排水施設の整備・改修に取り組み、内水被害の軽減を目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
都市浸水対策達成率(※) ※公共下水道(雨水)の都市浸水対策整備対象地域の面積のうち、計画規模の大雨に対して、公共下水道で整備が完了している区域の面積の割合	31.3% (H30)	⇒ 32.7% (R7)

基本施策

1-1 河川の水質保全

公共下水道(汚水)の整備を計画的に進め、普及促進を図ることで河川の水質を保全します。

【KPI】	現状値	目標値
公共下水道(汚水)の普及率 (処理区域内人口/行政人口)	98.4% (H30)	⇒ 99.9% (R7)

【主な取組】公共下水道(汚水)の水洗化率向上

住環境の改善や公衆衛生の向上を図るため、公共下水道(汚水)の水洗化率向上に向け、未接続世帯の解消に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
水洗化率(水洗化人口/処理区域内人口)	99.1% (H30)	⇒ 99.3% (R7)

¹ 汚水(し尿)や生活雑排水を微生物の働きなどを利用して浄化し、きれいな水にして放流するための施設

² 川の水位が上昇することにより、自然に川に排水できなくなり、市街地内を流れる側溝や排水路、下水道などから水が溢れる水害のこと

1-2 内水対策の推進

公共下水道（雨水）の主要な幹線やポンプ施設などの整備・更新を計画的に進めるとともに、治水機能の向上のため、河川管理者と連携し内水対策を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
内水対策完了済面積	271.9ha (H30) ⇒	284.8ha (R7)

【主な取組】 雨水排水施設の整備

水害のない生活環境を確保するため、雨水排水施設の整備を計画的に進めます。

【KSF】	現状値	目標値
別所雨水幹線整備延長	497m (H30) ⇒	1,448m (R7)

1-3 管渠³施設の適正管理

ストックマネジメント計画⁴に基づき管渠施設更新を計画的に進め、適正管理を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
管渠施設の計画的な更新	— ⇒	R2 策定の計画の中で設定

【主な取組】 スtockマネジメント計画に基づく施設更新（污水管渠）

日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するよう努めます。また、下水道施設全体の状況を把握し、中長期的な施設の状況を予測しながら、下水道施設の点検、調査及び修繕、改築を計画的かつ効率的に行い、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図ります。

【KSF】	現状値	目標値
更新計画に基づく更新の実施	— ⇒	計画的な更新の実施

関連する SDG s ゴール



生活環境を快適に保つため、下水施設の普及率の向上を図ります。

関連ターゲット（6-2、6-3）



水洗化率の向上を図り、水質の汚濁防止を図ります。

関連ターゲット（14-1）



雨水排水施設を計画的に更新、管理し、災害リスクの軽減を図り、市民の生命・財産を守ります。 関連ターゲット（11-3、11-5、11-b）



雨水排水施設を計画的に更新、管理し、災害に対する強靱性（レジリエンス）を強化します。 関連ターゲット（13-1）

³ 路面に埋設している排水管

⁴ 長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の状況を考慮し、計画的に施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、施設管理を最適化する計画

関連計画等

東京湾流域別下水道整備総合計画（国土交通省所管）

荒川流域別下水道整備総合計画（埼玉県所管 平成 20 年度～令和 6 年度）

荒川右岸流域下水道事業（埼玉県所管 昭和 46 年 12 月～令和 5 年 3 月）

富士見都市計画下水道事業富士見公共下水道（昭和 49 年 10 月～令和 5 年 3 月）

荒川右岸流域関連富士見公共下水道事業（昭和 49 年 10 月～令和 5 年 3 月）

関連部署

建設部 下水道課

